

体操、(1) 五指の指頭を下にさし掌を互に向  
い合わせた両手を交互に前に出しては後方へ  
引く。つまり「走る」時の両手の運動。「競  
走」の意味。

(2) 政治運動とかその他活躍する意味の運  
動。両の肘を左右に張って拳にした両手を交  
互にて前に突き出しては引き寄せる。大いに  
活動すると云う身振り。

運動会 運動(1)——会合  
運命 「占い」と同じ手まね。

## エ

絵 左手の五指の指頭を右にさし、上に向  
けた掌をカンバスか両用紙として、右手の掌  
を上に向け指頭を左にさした五指の背で絵具  
を塗る仕草をする。

映画 キネマ 五指の指頭を左にさし掌を

内側にした右手、五指の指頭を右にさし掌を  
内側にした左手、この両手をすれすれに合わ  
せて交互に上下の運動させる。スクリーンに  
映える光線の瞬きの感覚を表わしたものを。

影響 「関係」と同じ手まね。

營業 「商い」と同じ手まね。

衛生 左の掌を胸にあてがうばかりにし  
て、その手甲の上を右手で愛撫する。身体を  
大切に愛するの意味。

映写する 「写す」の(1)とは反対の手ま  
ね。即ち、この場合、映写機のレンズになぞ  
らえて五指の指頭を集め合わせて輪(穴)に  
した左手の前に、これも五指の指頭を集め合  
せた右手の手甲をつけ、レンズから光線を放  
つように、右手の五指をばって開いて前へさ  
し出す。

栄養 健康——適する——食べる——物(いろい  
ろ)

眼 汽車（電車）― 停る― 所。五指の指頭を左にさし掌を内側にした右手を電車或は汽車になぞらえて、右から左へ上下に振動させながら移動させ程よき位置に停めて、「所」の手まね（掌を下に向け五指を彎曲した手を、停車したその位置の上に小さく円を描いて圧えるようにして置きとめる。）

枝 指頭を上にした両手の人差指をV字形に組み、そこから右手の人差指を斜め上方に伸びるように上げて行く。木の枝の形を模写したもの。

会得する 五指の指頭を左にさし掌を内側にした右手を胸にあてがい、さつと腹まで撫で降す。腹にのみ込めたと云う意味。「理解する」「解つた」の手まねともなる。

蝦 右手（手甲は上向け）の指頭を左にさした人差指と中指を曲げては伸ばししながら右へ移動させる。蝦の游泳の姿態を模写した

もの。

繪具 「色」と同じ手まね。

偉い 「腕利き」と同じ手まね。

○「偉い人」腕利き― 人（男性或は女性を表わした手を上へさし上げる）。

選らぶ (1) 両手の夫々の人差指と親指の指頭を合わせて、胸の前で物をつまみ上げるように、交互に上へ引ける。前にある数多い物の中から選んでこれと思う物をつまみ上げること。(2) 掌を内側に五指の指頭を上にした左手を胸の前にかざし、その上に、右手の人差指と指頭を合わせたのを持って行き、左手の五指の中の何れか一指を選び出すように、つまみ上げる身振。

宴会 会合― 酒盛。

延期 下にさした五指の指頭を集め合わせた両手を胸の前に間隔を置いて左右にならべて、そのまま、両手の位置を胸の左の方へ置